

選挙を汚す 誹謗中傷は 許せません

共産党は「暴力革命」と無縁ではない!

共産党は「しんぶん赤旗 2022年7月号」などで「日本共産党は、「暴力革命」とまったく無縁」と主張しています。しかし、1950年代、当時の共産党が武装闘争を掲げ、暴乱事件や暴動騒ぎを起したことは歴史的事実です（詳しくは本書の二次元コードより「日本共産党の真の歴史」をご覧ください）。

Fact1 官報序も「暴力革命の方針を堅持する」と断定し、その動向をマークしています。

Fact2 また、公安調査庁の次長も、「現在においても、いわゆる「脱の方針」に立った暴力革命の方針に変更はない」と我々は認識しております」と証言しています。
▲引用「正論」9月号37頁より

こんな日本共産党に協力するのは絶対にやめましょう

JAPAN Guardians 日本共産党の正体を伝える団体
代表:安東新 東京都豊島区西池袋5-2-14 有山ビル5F
Website: www.japan-guardians.org Twitter: @JAPAN_Guardians



日本共産党は
暴力革命？

各地で日本共産党を貶める中傷ビラが配布されています。政策論争では勝てないからと、デマとウソで公党を攻撃するのは、民主主義をこわす卑劣な行為です。

社会の变革は「選挙と議会」を通じて一歩一歩

どんな改革の一歩も、選挙で示された国民多数の意思ですすむ——綱領で決めた大方針です。いまだけでなく将来、社会主義・共産主義にふみだす場合も、決して曲げることはありません。

発達した資本主義国で「暴力革命」ありえない

日本は、自由と民主主義、議会制度が発達した国です。社会の改革に暴力などまったく必要ありません。あるとすれば軍国主義やファシズムなど、国民主権を壊す政権からの暴力です。

そもそも共産主義は「暴力の根絶」をめざす

だれもが自由に生き、自分の可能性を全面的にひきだし、花ひらかせる——これが共産主義の目標です。いっさいの抑圧と暴力、人による人の搾取をなくすことをめざすのが共産主義です。



日本共産党は、党をつくって100年 反戦平和、主権在民を まっすぐつらぬく党です

日本共産党は、今年で 党創立100年をむかえます。

戦前から一つの名前で通してきた政党は日本共産党だけです。それは、戦前、日本共産党以外のすべての政党がみずから解散、「大政翼賛会」に合流して侵略戦争を推進し、戦後に同じ名前で再出発できなかったからです。

「反戦平和」「主権在民」

日本共産党が、命がけでつらぬいた主張は、いまの日本国憲法に実りました。

いままた戦前を思わせる、平和と憲法を壊す「翼賛政治」の危険が生まれています。こういうとき、どんな逆流にも正面から立ちむかう日本共産党の躍進こそ、平和とくらしを救うもっともたしかかな力となります。

